

放送大学における内部質保証の取組

～大学を開く～

放送大学
THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN

副学長 岩永 雅也

1. はじめに:放送大学の特徴

昭和56年：放送大学学園設立（当時は特殊法人）、昭和58年：放送大学設置 [本部：千葉県千葉市]

放送大学学園法（平成十四年年法律第一百五十六号）
（定義）

第二条 この法律において、「放送大学」とは、放送大学学園が設置する大学をいう。
（目的）

第三条 放送大学学園は、大学を設置し、当該大学において、**放送による授業を行うとともに、全国各地の学習者の身近な場所において面接による授業等を行う**ことを目的とする学校法人（私立学校法（昭和二十四年法律第二百七十号）第三条に規定する学校法人をいう。）とする。

テレビ・ラジオ・オンラインで学べる

テレビ授業科目 **166** 科目
ラジオ授業科目 **180** 科目
オンライン授業科目 **61** 科目

[令和2年度第2学期]

BS デジタル **231** Ch. **232** Ch. **531** Ch.
ラジオ ※ 学生は大学のシステムを通じインターネットでも視聴可能
インターネットラジオ **radiko.jp** (ラジオ)

全都道府県に57の学習センター等

面接授業科目 **3,032** 科目 [令和元年度]

学習センターの役割

- 面接授業の開講
- 放送授業の再視聴
- 単位認定試験
- ゼミ・勉強会の開催
- 図書閲覧・貸出
- 学習相談

等

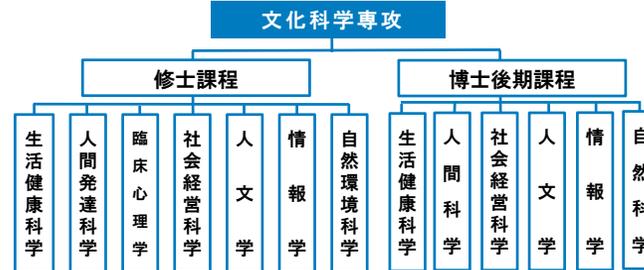


公開講演会 **635** 講座 [令和元年度]

1学部1研究科 専任教員141名



◆大学院文化科学研究科 修士（学術）、博士（学術）
1専攻 修士課程：7プログラム、博士後期課程：6プログラム



学びやすい学費体系

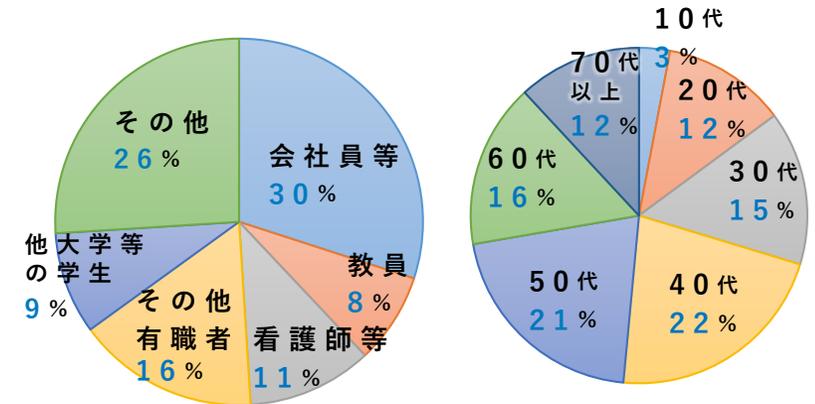
1科目（1単位5,500円）から学べる
学部4年間で約70万円（国立大学の1/3）

学部	入学料	授業料
全科履修生	24,000	1単位 5,500
選科履修生	9,000	
科目履修生	7,000	

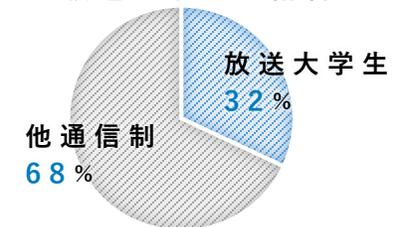
研究科	検定料	入学料	授業料	研究指導料
修士全科生	30,000	48,000	1単位11,000	1年間88,000
修士選科生	—	18,000		—
修士科目生	—	14,000		—
博士全科生	30,000	48,000	1単位 44,000	1年間 352,000

学生数約9万人 30代以上有職者多数

在学者数合計 **87,053** 人
学部 **82,808** 人
修士課程 **4,177** 人
博士課程 **68** 人 [令和2年度第2学期]



通信制大学で学ぶ25歳以上の学生に占める放送大学生の割合



2. 授業科目の質と教育効果を高めるために

テレビ・ラジオ授業科目

学部は94/124単位以上修得必要

番組放送 + 印刷教材（教科書） + 通信指導 + 単位認定試験

- ・専任教員が責任者。客員教員と複数名で担当することも多い。
- ・1科目4年～6年放送。学生はインターネット視聴も可能。
- ・番組DVDや印刷教材は（一財）放送大学教育振興会が市販。
- ・他大学図書館や自治体図書館・公民館等にも配備。

1. 全国公開：緊張感をもたらす責任意識

- ・番組と印刷教材は、学生に限らず誰もが視聴し手にできる。
- ・分野にかかわらず、様々な授業科目が比較され評価される。

2. 共同体制：担当外教員や専門スタッフの関与・助言

- ・科目別教材作成部会
科目ごとに、担当教員と専門スタッフ（番組プロデューサー、印刷教材編集者等）で構成や内容を検討。経験の浅い教員を支援。
- ・フレンドリーアドバイス
印刷教材の原稿を専門分野の近い教員が読み助言。

3. 手順周知：方法、手続、留意事項の明示・共有

- ・教材制作ハンドブック
- ・印刷教材作成要領・印刷教材作成マニュアル
- ・試験問題作成要領
- ・放送番組基準・番組考査（表現や事実の適正確認、修正依頼）

オンライン授業科目

オンデマンド配信 + 学習活動 + 毎回の指導 + 学生同士の意見交換

- ・メディア授業告示第2号に基づく。（参考資料1）
- ・学生数や学習活動に応じてTAを配置
- ・1科目4～6年配信。学生のみ視聴可能。
- ・学習活動により成績評価。
- ・手順周知：オンライン教材作成マニュアル
- ・**修得させる知識・技能に応じ様々な手法を併用。**（参考資料2）
- ・学期単位での改訂により最新情報を提供。

面接授業科目

8回（1単位）を2日間連続で実施

- ・学習センターごとに地域性や特徴のあるテーマで開講。
- ・全国の学習センターを巡り受講することも可能。
- ・**専任教員・客員教員・学生に直接会い、対話・議論。**

（参考）令和2年度コロナ禍の対応：各地域の状況・事情に応じ実施。

第1学期：1,457科目閉講。80科目をWEB授業で代替。

第2学期：1,296科目開講。感染拡大により代替又は閉講が出つつある。

研究指導

グループ指導、個人指導

- ・指導教員は主1名・副2名（メジャー・マイナー）の3名体制。
- ・博士学位請求論文は予備論文審査を通過した者が提出可能。

3. 学びを支え深めるために

主体的で体系的な学びの支援

◆履修科目案内図

全授業科目について、科目区分（基礎、導入、専門、総合、共通）と難易度（初級・中級・上級）別にナンバリングし、各コースごとに、コースを構成する複数の学術分野の系統に即して分類と難易度を提示。

◆科目群履修認証制度「エキスパート」

一定分野の体系的な授業科目の学びを証明する履修証明制度。
 (例) 福祉コーディネータプラン、臨床心理学基礎プランなど

学習の継続支援、特別な配慮

特別な配慮の対象学生：922人
[令和2年度第2学期]

◆テレビ授業科目

字幕付与。主なコマ画像に字幕を付した台本を作成し希望者に配布。

◆ラジオ授業科目

学生向けインターネット配信は字幕を付し聴覚障害者も受講可能に。

◆単位認定試験

記述困難者には選択式問題を作成し出題。

◆学習センター（各都道府県1か所、東京都は4か所）

就学前相談、各種学生相談（修学、メンタル、ハラスメント等）。
 学生による学生支援（数学、ITの利用方法など）。

◆学習サポートセンター（いわゆるコールセンター。46名配置）

入学・履修案内、新規入学者の修学支援、科目登録の喚起連絡等。

厳格な成績評価

単位互換制度により他大学も単位認定に利用

◆着実な学習の積み重ねによる定着と応用力を問う

- ・放送授業：択一式試験、筆記試験
- ・オンデマンド授業：IBT、演習物、レポート
- ・面接授業：レポート、制作物

により厳格に評価。60点以上合格。

(参考) 2019年度第2学期単位認定成績分布

E	D	C	B	A	Ⓐ	
0-49点	50-59点	60-69点	70-79点	80-89点	90-100点	合格者
6.6%	5.6%	9.6%	14.5%	25.5%	37.4%	87.0%

キャリアアップと豊かな人生に向けて

◆特定資格に関する授業科目の開講

(例) 教員免許更新講習、看護師の特定行為研修、
 公認心理士養成、認定心理士資格など

◆再入学の勧め（入学者の約半数は再入学者）

卒業間近な者への再入学（別コース履修）の勧め。
 学部6コースを卒業（6回卒業）した学生の特別表彰。

◆学生でなくとも学べるインターネット配信公開講座

1. 小学校プログラミング教育指導者向け講座
2. 中学校・高等学校プログラミング教育指導者向け講座
3. 数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル) 講座

* 2,3は2021年4月開設予定。

4. 教育研究基盤の強化のために

○理事会 放送大学学園業務運営計画策定（6年度毎）

常勤理事会 業務運営計画に基づく年度計画策定・評価（毎年度）

- 第三者評価・結果公表（毎年度）
- 学園・大学の各種規程公表
- 各種情報公表
- 法人文書管理、情報公開、個人情報保護は国と同様の法制度

■運営会議 実践・執行に向けた意見交換・情報共有（常勤理事、学長・副学長等、事務局長・部長等）

◆学長

副学長3名、図書館長、オンライン教育センター長

評議会・教授会

各種委員会

学務委員会、試験委員会、学生委員会、障害学生支援に関する委員会、図書情報委員会、国際交流委員会 等

学部コース・研究科プログラム会議

学習センター所長会議

●学生による授業評価

各教員へフィードバック（毎年度）

PDCA

■学園に置く各種委員会

自己点検・評価委員会、広報・学生確保対策本部、情報戦略本部、危機管理委員会、放送番組編成制作委員会 等

■IR活動（委員会＋事務組織）

学園の経営及び大学の運営の強化に向けた、学生確保対策、経営資源の投入に係る調査・分析及び情報提供

- ・ 学生実態調査
- ・ 社会人一般調査
- ・ 入学者・在学者分析
- ・ 常勤理事会及び教授会等への報告 等

■学習教育戦略研究所（研究課題毎に教員を中心に事務職員や外部有識者も参画する教職協働の取り組み）

- ・ 放送大学の学習環境・教育内容・教育方法等の改善や新規導入に向け調査・研究。
- ・ 研究所が設定する重点研究課題や、教員・事務職員を対象とした公募研究の採択により実施。
- ・ 研究成果は常勤理事会及び教授会に報告。学外にも発表。研究成果の実装・実働へ。

(例)

- CBT導入による単位認定試験の実施可能性に関する総合調査
- 放送大学における研究倫理教育の在り方とその可能性に関する研究
- リメディアル教材の開発及び改善に関する研究
- 地方の都市域における学生募集広告のスマホへの自動配信の有効性検証

*専任教員

- ・ 毎年自己評価、学長・副学長等による助言
- ・ 5年毎の再任審査

*事務局職員

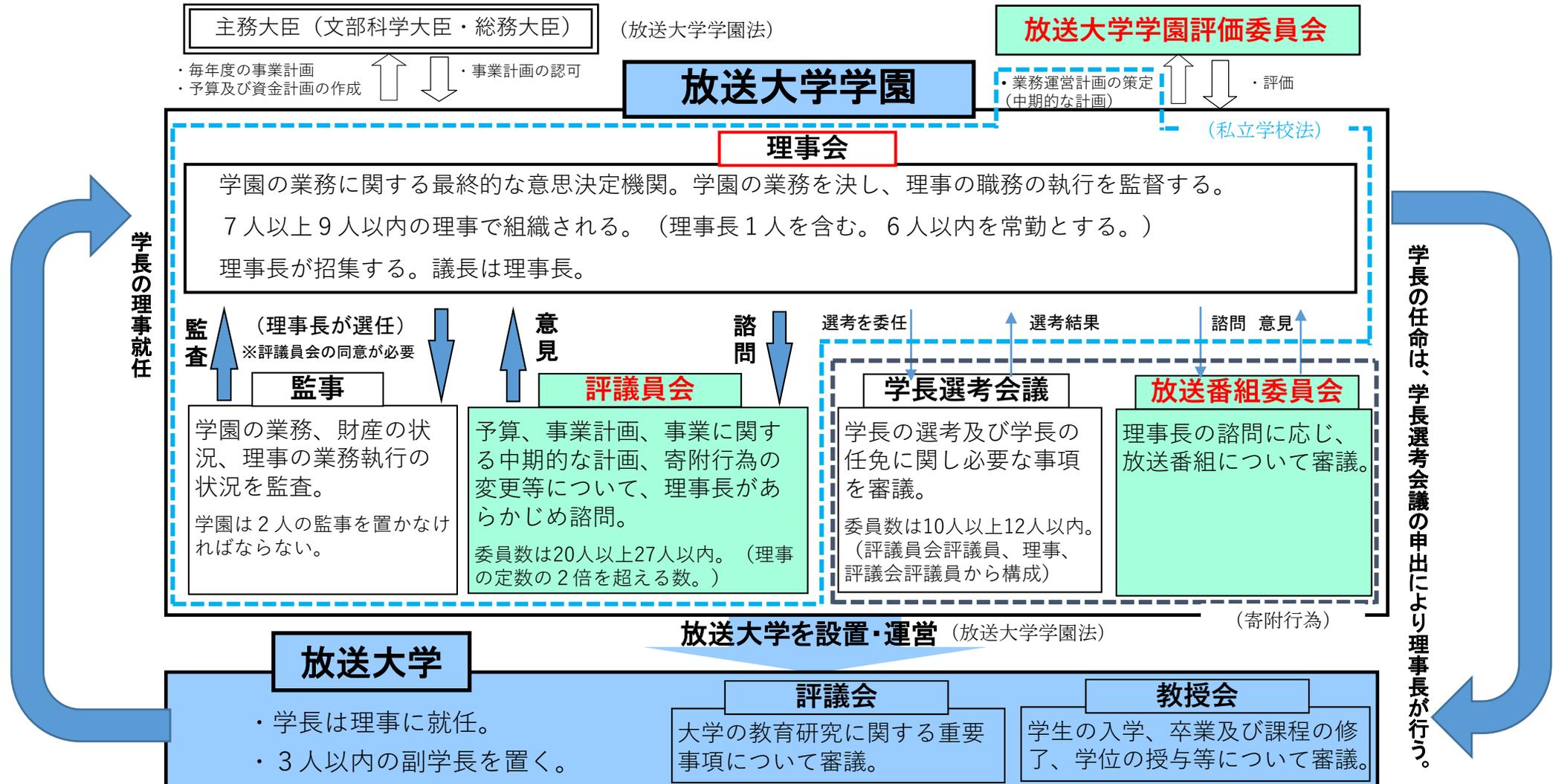
- ・ 民間企業・他大学経験者の積極的採用
- ・ 他大学・NHK・行政機関との人事交流

5. 大学経営の継続・発展のために

○最高意思決定機関は、合議制機関である**理事会**。

学長は、学園の理事として経営に参画。

評議員会は、20人以上27人以内の評議員定数で組織され、**学識経験者や法人経営者、卒業生等が評議員に選任される。**
第三者委員による「放送大学学園評価委員会」や「放送番組委員会」において毎年定期的に評価・審議。



◎大学設置基準第二十五条第二項の規定に基づき、大学が履修させることができる授業等について定める件
(平成十三年文部科学省告示第五十一号)

通信衛星、光ファイバ等を用いることにより、多様なメディアを高度に利用して、文字、音声、静止画、動画等の多様な情報を一体的に扱うもので、次に掲げるいずれかの要件を満たし、大学において、大学設置基準第二十五条第一項に規定する面接授業に相当する教育効果を有すると認められたものであること。

- 一 同時かつ双方向に行われるものであって、かつ、授業を行う教室等以外の教室、研究室又はこれらに準ずる場所（大学設置基準第三十一条第一項の規定により単位を授与する場合においては、企業の会議室等の職場又は住居に近い場所を含む。以下次号において「教室等以外の場所」という。）において履修させるもの
- 二 毎回の授業の実施に当たって、指導補助者が教室等以外の場所において学生等に対面することにより、又は当該授業を行う教員若しくは指導補助者が当該授業の終了後すみやかにインターネットその他の適切な方法を利用することにより、設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導を併せ行うものであって、かつ、当該授業に関する学生等の意見の交換の機会が確保されているもの

(参考資料2) オンライン授業の類型

オンライン授業科目は科目特性に合わせて授業を設計することができる。主な類型は下記の通り。(下記類型は、実際の科目を元に一部改編し作成。)

(1) **講義先行型**：講義(映像・音声・資料等)が先行し、設問解答等の学習活動を行う形式。

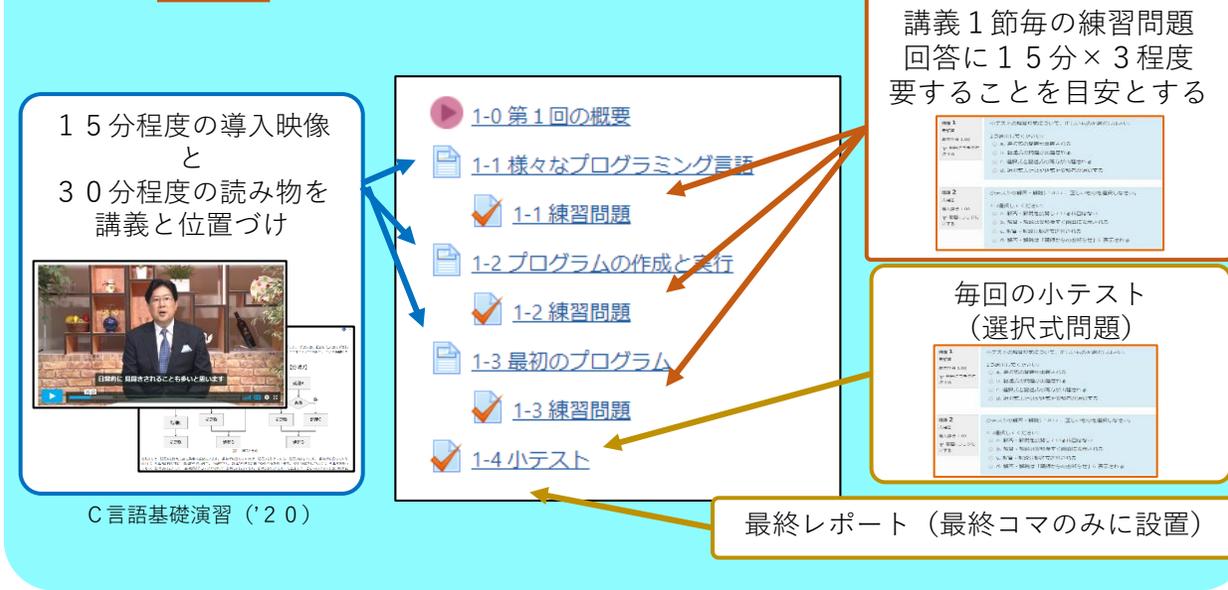
① 動画・音声スライドによる講義

- (1) **講義** 音声スライドまたは講義映像 15分×3節程度
- (2) **学習活動** 選択式問題【練習問題(繰り返し解答可)】 15分×3節程度
- (3) **成績評価** 毎回の選択式問題【小テスト】、最終レポート



② ドキュメント中心の講義

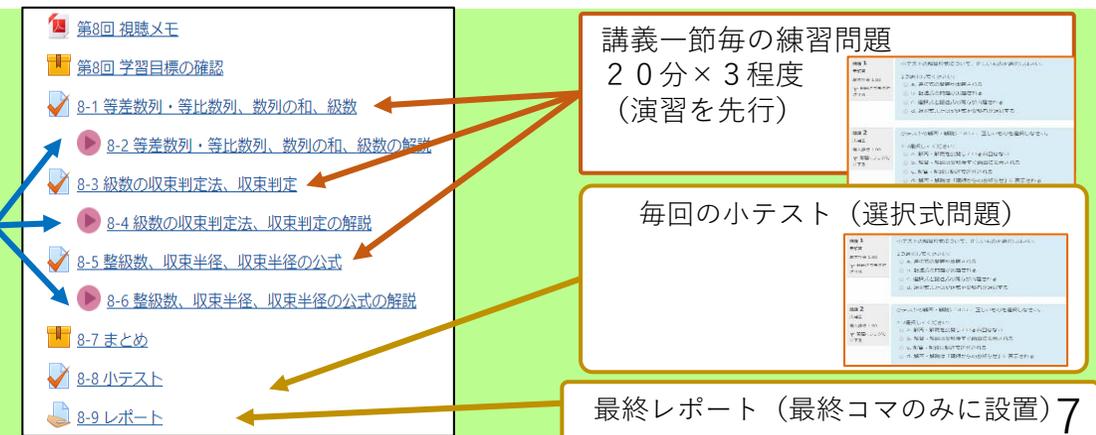
- (1) **講義** 音声スライド・映像による導入 15分程度
講師が用意するPDF等読み物 10分×3節程度
- (2) **学習活動** 選択式問題【練習問題】 15分×3節程度
- (3) **成績評価** 毎回の選択式問題【小テスト】、最終レポート



(2) **学習先行型**：主に学習活動が先行し、解説講義を行う形式。

- (1) **学習活動** 選択式問題【練習問題】 20分×3節程度
- (2) **講義** 音声スライド・講義映像・文字資料による
学習活動の解説 10分×3節程度
- (3) **成績評価** 毎回の選択式問題【小テスト】、最終レポート

10分程度×3程度
問題開設を講義と位置づけ
練習問題を解かなければ解説が閲覧できない設定



(3) 発展的な学習活動の事例

① 実技演習の併用

学習活動の一部として、演習の課題を課す。(オンライン教育センターマネージャと協議の上、実施)

講師による指導(設問解答、添削指導、質疑応答等)を伴うものであることが必要

練習課題1 (ex03.c)

次のようなプログラムを作ってください。

- char型変数initialを宣言し、文字 M を代入する。
- int型変数ageを宣言し、整数 42 を代入する。
- double型変数heightを宣言し、小数 164.5 を代入する。

ソースコードをex03.cというファイル名で保存し^[a]、コンパイル、実行してください。

C言語基礎演習 ('20)



課題実施後、
正解を表示する。

```

正解例
1. #include <stdio.h>
2.
3. int main(void)
4. {
5.     char initial;
6.     int age;
7.     double height;
8.
9.     initial = 'M';
10.    age = 42;
11.    height = 164.5;
12.
13.    return 0;
14. }
    
```

② ディスカッションの活用

4-7 ディスカッション
(第4回用)

利用制限 2020年 10月 30日 10:00 より利用可

第4回までの学習を踏まえ、「女性が就業継続する上でのさまざまな課題について」ランダムに分けられたグループでディスカッションを行います。
「講師からのお知らせ」とディスカッション内の指示に従って学習を進めてください。

第4回のディスカッション期間は、一番上の「ディスカッション開始日」を確認ください。オンライン上でのタイムリーな意見交換を行うために、ディスカッションは、できるだけ開始後2週間程度の推奨期間中に行ってください。ディスカッション開始数日前までに、グループ分けやその他の注意を「講師からのお知らせ」で配信します。

3回以上投稿すると完了マークがつき、「4-7-1ディスカッションレポート」が提出できるようになります。

4-7-1ディスカッションレポート

利用制限 次の条件に合致しない限り利用できません: 活動「4-7 ディスカッション」が完了マークされた場合

女性のキャリアデザインの展開 ('17)

テーマを決めてディスカッション
を行う(電子掲示板上で実施)

ディスカッションへの投稿を
レポート提出の条件として設定。
(課題は、ディスカッションの発
展的内容)